



2016年3月31日付

基準価額の推移



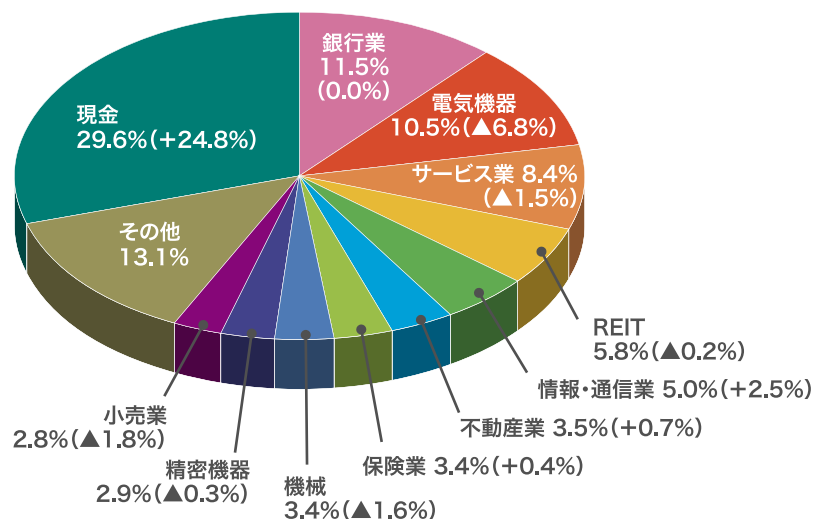
分配実績

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)
0円	0円

基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
11.58%	▲12.74%	▲2.56%	▲7.68%	18.92%

業種別構成比 ()内は前月比



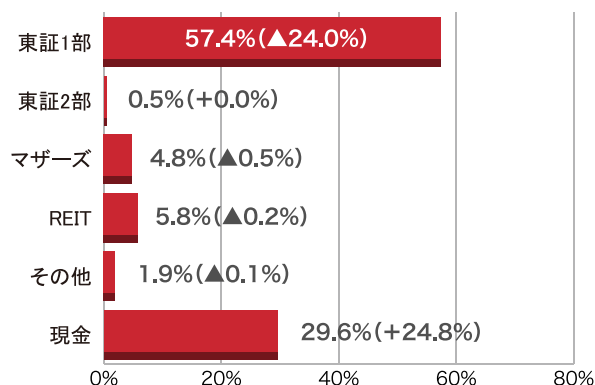
ファンドのデータ

基準価額	11,892円
純資産総額	4,770百万円
受益者数(直販)	1,646人(+20)

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	70.4%	▲24.8%
現金等	29.6%	24.8%
構成銘柄	52社	0社

市場別構成比 ()内は前月比



● 比率は純資産総額を100%として計算しております。 ● 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

Ⅱ 市場概況

月初から14日までは、中国やECB(欧州中央銀行)による追加金融緩和策の導入や、原油価格の底入れなどにより大幅に上昇しました。その後、月末にかけては日経平均17300円から16600円の範囲(ボックスレンジ)で一進一退を繰り返す展開となりました。TOPIXの月間リターンは3.80%の上昇、日経平均は4.57%の上昇となりました。詳細は以下の通りです。月初は、中国の金融緩和や米ISM製造業景況指数が市場予想を上回ったことなどを受けて、今年初めてとなる3日続伸となりました。8日に発表された中国貿易統計で輸出が大幅減少したことなどを受けて一時的に下落しましたが、10日のECBによる包括的な追加金融緩和策の導入や原油価格の底入れなどにより、日経平均は再び上昇に転じ、14日(ザラ場)に月間最高値17291円を付けました。しかし、15日に日銀が金融政策の現状維持を決定したことや、16日のFOMC(米連邦公開市場委員会)において年内の利上げペースを緩やかにすることを示唆する声明が発表されたことなどを受けて、ドル円相場は17日に110円台まで上昇、外需株だけでなく景気の先行きに警戒感が広がるなど、売りが優勢となりました。下旬にかけては、FOMCメンバーによる4月利上げに言及する発言が相次いだことや、3月期末を前に国内輸入企業による円売りなどによる円安と、個人投資家の配当権利取り目的の買いなどが株価を少し押し上げました。月末にかけては、イエレン FRB (米連邦準備精度理事会)議長が講演で利上げに慎重な姿勢を示したことに伴う円高が嫌気され、日経平均はやや下落しました。

主な株式指数をリターン順に見ると、東証マザーズ指数(+21.72%)、JASDAQ指数(+6.43%)、日経JASDAQ平均(+4.9%)、日経平均株価(+4.57%)、東証2部(+3.92%)、TOPIX(+3.80%)となりました。TOPIX規模別では、スモール(+6.61%)、ラージ70(+4.18%)、ミッド400(+3.76%)、コア30(+2.74%)となりました。TOPIX業種別株価指数のリターン上位3位は、小売業(+8.56%)、海運業(+7.95%)、鉄鋼(+7.40%)でした。同下位3位は、保険業(▲1.74%)、陸運業(▲1.13%)、非鉄金属(▲1.06%)でした。なお33業種のうち29業種がプラスリターンになっています。

Ⅲ 運用状況

◎3月の主な投資行動

運用部としては、年初から2月まで続いた株価下落局面に対して中長期の投資観点から「絶好の買い場」であることを、1月の運用報告会(四半期毎に東名阪を中心に開催)や1・2月の月次レポート・運用報告動画などで説明してきており、先月末の株式組入比率(以下、同比率)は95.2%としていました。

3月初めから日経平均が14日に月間最高値17291円(ザラ場)を付けるまでの大幅な上昇局面においても、先月末と同様の高水準(概ね98~99%)を維持したことにより、ファンドは大きく上昇しました。同局面においては、先月から中長期的な投資観点から過度に下落していたため重点的に保有を増やしていた電気機器(前月末17.4%→当月末10.5%)や卸売業(同4.8%→同1.5%)、鉱業(同2.1%→同0.0%)などの銘柄群を株価リバウンドに合わせて一部売却する一方、情報通信業(同2.5%→同5.0%)などを買増しました。

その後は、日経平均が17000円以上の局面において、同比率をダイナミックに引き下げ、月末は70.4%としました。特に大きく組入比率を引き下げた業種は、電気機器(同17.4%→同10.5%)や証券商品先物(同6.4%→同0.8%)などです。

◎3月のファンド月間リターンとその要因

3月末の基準価額は11892円(2月末10658円)、ファンドの月間リターンは11.58%の上昇となりました。主な要因は、前月末より組入業種上位としていた電気機器や銀行、サービスなどが上昇したことによるものです。特に、前月末に同比率を17.4%にまで引き上げていた電気機器の業種指数は、当月6.03%の上昇となり、当月の月間プラスリターンに大きく寄与しました。

当ファンドにベンチマークはありませんが、ご参考としてTOPIX(以下、同指数)は3.80%の上昇となっています。当ファンドが同指数を大幅に上回った主な要因は、当ファンドで保有していなかった陸運業や、同指数の構成比率よりも少なく保有していた情報通信業や医薬品などの業種別指数が、同指数を下回るリターンとなったことなどがあげられます。

◎3月末のポートフォリオ

株式等組入比率は70.4%(前月末比▲24.8%)に引き下げており、逆にキャッシュ比率は29.6%(同+24.8%)に引き上げています。市場別構成比率では、東証1部57.4%(同▲24.0%)、REIT5.8%(同▲0.2%)、東証マザーズ4.8%(同▲0.5%)などとなっています。業種別では、1位が銀行業11.5%(同0.0%)、次いで電気機器10.5%(同▲6.8%)、サービス業8.4%(同▲1.5%)となりました。組入銘柄数は52銘柄(同±0)となりました。

組入上位5銘柄の紹介

(2016年2月29日現在)

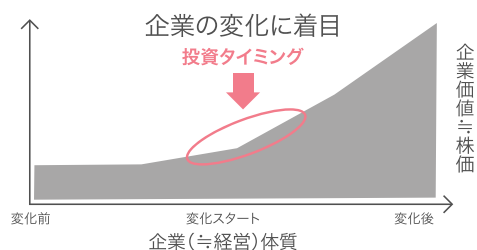
銘柄名		概要
業種	組入比率	
楽天		社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立つ。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行っている。
サービス業	7.3%	
三井住友フィナンシャルグループ		3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかわる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。
銀行業	6.3%	
東芝		二人の創業者、田中重久が興した「重電」の流れと、藤岡市助による「エレクトロニクス」の流れが同社の礎。不正会計をきっかけに巨額赤字が発生し、財務内容が大きく悪化。資産売却で自己資本改善を急ぐとともに、合理化徹底で収益力回復を目指している。
電気機器	6.0%	
野村ホールディングス		日本最大の投資銀行・持株会社。国内ではコンサルティング中心の営業スタイルでストック収入を重視、海外ビジネスでは「グローバルにお客のニーズを繋ぐ」をモットーに、ホールセールを強化し、アジアに立脚したグローバル金融サービスグループを目指す。
証券 商品先物取引業	5.4%	
三菱重工業		世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。
機械	5.0%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

運用方針

変化しはじめた企業、変化にチャレンジする企業を中心に中長期の視点で厳選し、ダイナミックな運用を行います。

定性評価



- ・5-10年の中長期的な視点で企業変化に着目
- ・「マネジメントが変化した企業」や「時代の変化に対応する企業」

日本株のみに厳選投資

50銘柄

- ・投資対象は大型から小型株
- ・企業取材など直接的なボトムアップ・アプローチに基づく調査を実施
- ・相場見通しや個々の株価水準に合わせて、より株価上昇の確度が高い約50銘柄を厳選
- ・50銘柄で分散効果は十分可能

定量評価

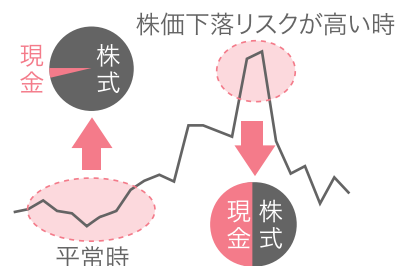
株価に対する割安度合い

- ・PER、PBR、配当利回りなど株価に対する指標(バリエーション)

収益力の変化と持続性

- ・ROE、利益成長率、利益率など株価上昇による割安感が解消した場合や、さらに割安な銘柄を発掘した場合などには投資期間に関わらず売却

ダイナミックな運用



株式組入比率をダイナミックにコントロール

メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
3月2日	日経新聞	スクランブル「財政出動にらむ投資家」で糸島がコメントしました
3月5日	TV東京	マネーの羅針盤「ブルベア羅針盤」に糸島がゲスト出演しました
3月7日	TV東京	モーニングサテライト「私の相場観」で糸島がコメントしました
3月8日	静岡新聞SBS	「渋沢栄一の思想解説 やしやごの健氏講演 静岡」が掲載されました
3月10日	BSジャパン	NIKKEIモーニング+（プラス）に糸島がコメンテーターとして出演しました
3月12日	日経新聞	【銘柄診断】「積ハウス 大幅上昇、一時6%高 減益でも還元拡大好感」で糸島がコメントしました
3月13日	日経電子版	マネーブログカリスマの直言に「女性活躍は企業の価値創造の源」と題し渋澤が寄稿しました
3月14日	日経電子版	「年度末の株高期待、その先の不安」で伊井がコメントしました
3月14日	時事ドットコム	年度末1万8000円も＝コモンズ投信社長・伊井哲朗氏
3月19日	日経新聞	日経新聞プラスワン「新年度から毎月積み立て 制度のメリット味方に」でコモンズが紹介されました

セミナー案内

セミナー名		日付	時間	場所
「ザ・2020 ビジョン」 四半期報告セミナー	東京	4月13日(水)	19:00～20:45	東京都中央区(東京証券会館1階・兜町カフェラウンジ)
	東京・受益者限定	4月15日(金)	19:00～20:45	東京都新宿区(船井セミナールーム)
	札幌	4月16日(土)	18:00～19:30	北海道札幌市(わくわくホリデーホール)
	名古屋	4月22日(金)	19:00～20:45	愛知県名古屋市(ウィングあいち)
	大阪	4月23日(土)	13:30～15:15	大阪府大阪市(エル・おおさか)
	大阪・受益者限定		17:00～18:45	
コモンズ 30 ファンド【7周年記念イベント】		5月21日(土)	9:30～11:45	大阪府大阪市(エル・おおさか)
		5月22日(日)	9:30～12:00	愛知県名古屋市 (オフィスパーク名駅プレミアホール)
60 才からはじめてのコモンズ		4月28日(木)	13:30～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
		5月27日(金)		
コモンズ投信 ファンド説明会		4月9日(土)	14:00～16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
		4月11日(月)	15:00～17:00	
		4月23日(土)	14:00～16:00	
		5月11日(水)	19:00～21:00	東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)
		5月14日(土)	14:00～16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
コモンズまなび塾 はじめて学ぶ投資信託	DAY1 「投資信託とは」	5月17日(火)	13:30～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	DAY2 「目論見書・運用報告書の読み方」	5月24日(火)		
	DAY3 「投資信託を選んでみよう」	5月31日(火)		
コモンズ × あしたば未来塾 ゲームで学ぶ！ 「じぶん年金の作り方」(つみたて体験ゲーム)		4月26日(火)	13:30～15:30	東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)
		5月19日(木)	19:00～21:00	
ジュニア NISA 徹底活用！ パパとママのためのこどもトラストセミナー	(お子様連れ可)	4月29日(祝・金)	10:00～11:15	東京都世田谷区 (ウイズダムアカデミー田園調布自由が丘校)
		5月25日(水)	13:30～15:30	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
こどもトラストセミナー「かきくけコモンズ」【か】		4月29日(祝・金)	10:00～11:30	東京都世田谷区 (ウイズダムアカデミー田園調布自由が丘校)
くつろぎ BAR		4月20日(水)	18:00～20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
		5月18日(水)		東京都中央区(東京証券会館1階・CAFE SALVADOR BUSINESS SALON)

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターへお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時～午後5時受付)

第1回POINT応援先は(特)日本視覚障害者柔道連盟に決定しました!!!

『「視覚に障害があるとは思えない」・・・これが視覚障害者柔道を観戦した観客から寄せられる多くの言葉です。東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しても、いまだに理解が進まない視覚障害者柔道。目が見えないからこそ磨かれる聴覚や触覚。そして技のみならず精神も磨かれる美しい日本の柔道。柔道は人間教育です。日本柔道はいま、健常者と障害者が一つになり、ともに力を合わせて若者を育てることで、日本の明るい未来創造のためにまい進しています。そのために多くの皆様のご支援を頂きながら、若手選手の発掘や育成への環境整備を推進し、更なる視覚障害者柔道の発展を目指していかなければなりません。



2016年は、新たな試みとして柔道教室の開催を計画しております。未来を担う子供達や若い世代の方々に実際に体験してもらい様々な可能性を見出していくと共に、視覚障害者柔道を理解していただく交流の場を設けることにも力を注ぎます。』

これはPOINT応援先を決定する際に、(特)日本視覚障害者柔道連盟理事 遠藤義安氏(男子監督)より預かったアピールメッセージです。

(特)日本視覚障害者柔道連盟 URL: <http://judob.or.jp/>

ザ・2020ビジョン寄付プログラム(通称POINT・ポイント)とは?

皆さんと一緒に日本の障がい者スポーツのチャレンジャーなどを応援する弊社独自の寄付プログラムです。当ファンドで弊社が受け取る信託報酬の1%程度を寄付します。※ファンドからの拠出ではありません。

◎選定基準

- 障がい者スポーツの振興に取り組み、日本のダイバーシティ推進に活躍が期待される個人及び団体
- 資金使途など、財務内容のディスクロージャーがしっかりとされていること

◎選定方法

最終候補者をコモンズ投信で選出。

「ザ・2020ビジョン」の受益者及びコモンズ投信社員から、自分が推薦したい候補者を選び、理由と共にその声を届けていただく。

外部審査員を含む最終選考委員会を開催し、受益者及びコモンズ投信社員からの推薦理由も参考に応援先を決定する。

◎スケジュール

「ザ・2020ビジョン」の決算時に翌年度の応援先最終候補者を決定し、毎年審査を行う(連続しての受賞も可能)。翌年度末の「ザ・2020ビジョン」の残高に基づき、寄付額を決定する。

*第1回応援先は、2015年、2016年の2年分の寄付金を授与することとする。

3月中旬にPOINT(ポイント)の外部審査員3名とコモンズ投信のメンバー3名で構成される最終選考委員会を開催し協議した結果、第1回コモンズPOINT応援先は(特)日本視覚障害者柔道連盟に決定いたしました。

第1回応援先の最終候補者は、今回応援先に決定した(特)日本視覚障害者柔道連盟以外に下記2団体でした。

団体名	一般社団法人 日本車椅子バスケットボール連盟
ビジョンワード	五感で楽しむスポーツ、車椅子バスケットボール!
発信者名	事務局長 小瀧 修 氏
webサイト	http://www.jwbf.gr.jp/



団体名	(特)日本知的障がい者陸上競技連盟
ビジョンワード	知的障がい者への理解を求めて
発信者名	事務局長 浅野 武男 氏
webサイト	http://www.jidaf.org/index.html



【最終選考委員会】

- 小澤直氏(日本財団パラリンピックサポートセンター)
- 澤邊芳明氏(ワン・トゥー・テン・ホールディングス)
- 田口亜希氏(日本郵船・パラリンピアン／射撃)
- 渋谷健(コモンズ投信) ● 伊井哲朗(コモンズ投信) ● 馬越裕子(コモンズ投信)



◎最終選考委員会

最終選考委員会では、候補の3団体に票が割れました。それは、3団体の活動がいずれも素晴らしいことを表していました。その中で、障がい者スポーツへの理解を深めるためにすそ野を広げることにフォーカスするのか、あまり知られていないからこそ取り上げるべきなのかなど、その選考の視点を中心に議論が進められました。そして最終的に決まったのが、日本視覚障害者柔道連盟です。

決め手となったのは、受益者の皆さまとコモンズ投信の社員ともに推薦が一番多かったことに加え、リオのパラリンピックを目前に日本古来の柔道という種目でありながら、まだまだ一般的に注目されていない同連盟の活動にスポットライトをあて、真のダイバーシティーの活動につながるよう皆さまとともに応援したいとの想いでまとまったからでした。

受益者の皆さまからいただいた同連盟に対する推薦文の一部を下記にご紹介いたします。



目が不自由なことで研ぎ澄まされる感覚を実際に見る機会や知る機会を増やしてほしいと思うから。

何か体の機能の一つ、うまく機能しないものがあったとしても、他の機能がちゃんとカバーして生きることができる。そんな人体の大きな可能性を感じられる取り組みだと感じました。また、10年ほど前から日本の伝統や伝統的武術が人の潜在力を引き出す素晴らしいものであることを知り、その中の一つである柔道にも大きな興味と可能性を感じるため。



日本の国技である柔道の視覚障害者の団体である当連盟への寄付を通じて、広く海外に柔道の良さ、すなわち、技のみならず精神も磨かれる日本柔道の理解を深め、さらに健常者と障害者が、ともに力を合わせて若者を育てることで、視覚障害者柔道の発展を目指し、かつ、日本の明るい未来を創造している姿勢を発信して頂きたいから。

速報を仙台にいらっしゃる遠藤監督にお伝えしたところ、信じられないという想いと共に、益々がんばりますとの決意のお言葉をお預かりしました。また是非講道館などで開催される大会にも見に来て下さいとのお願いです。

次の大きな大会は、

◎ 5月4日(水)9:00～12:00

『リオデジャネイロ・パラリンピック柔道競技 日本代表候補選手選考大会』が東京都文京区にある講道館で開催されます！

詳しくはこちらをご覧ください。

http://judob.or.jp/oshirase/2016/160121_riopara_1.html

また惜しくも受賞を逃された最終候補の2団体の広報活動にも今後とも協力して参りたいと思います。

引き続きPOINTに是非ご注目ください！

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■ コールセンター (受付時間/平日 午前9時～午後5時) 03-3221-8730 ■ ウェブサイト http://www.common30.jp/
◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。 ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会 コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階